



各位

新千歳空港国際線旅客ターミナルビル 旅客取扱施設利用料の改定について

現在の国際線旅客ターミナルビルは、増大する国際線需要に対応するため、2010年3月に新築・供用開始し、9年余経過いたしました。

この間、供用開始当初年間85万人であった国際線旅客数は、我が国の成長戦略の柱である観光立国の実現に向けた官民挙げての様々な取り組みを背景に飛躍的に増加し、直近2018年度における国際線旅客数は、北海道胆振東部地震による一時期な落ち込みがあったものの、過去最高となる年間385万人に達し、実に9年間で4.5倍の伸びを示しております。

(供用開始当初の航空会社は10社/1日当たり9往復、現在は29社/1日当たり36往復の運航)

こうした需要の増大に対応すべく、国は発着枠の拡大や出入国審査体制の拡充を図り、当社はチェックインカウンターの増設や保安検査場レーンの拡大、バスゲートの拡張など暫定的な受け入れ態勢の整備を図って参りましたが、施設の狭隘化による利便性の低下が避けられない状況となっております。

そのような中、急激な国際線需要の拡大による混雑の抜本的な解消と、今後もラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした本道の更なる観光需要の拡大にも対応すべく、国は2016年度に新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業に着手し、当社も本事業と協調する形で国際線旅客ターミナルビルの拡張再整備を急ピッチで進めております。

本整備事業では、国がエプロンの拡張や誘導路の新設等を行い、当社はターミナルビルを2倍強に拡張再整備し、施設の狭隘化解消と機能性の向上を図ります。

また、国が推進する「FAST TRAVEL」を積極的に取り入れ、世界最先端の技術・システムによる各種旅客手続きの効率化、ストレスフリー化を推進するなど、利用者の利便性や快適性の向上を図って参ります。(別紙参照)

つきましては、今回の拡張再整備における費用等につきましては、空港法の定めにより国際線を利用されるお客様(出発客を対象)にその一部をご負担いただくこととし、現在の「旅客取扱施設利用料(国際線 PSFC)」を以下のとおり本年10月27日より改定させていただく旨、国土交通大臣に申請し、本日認可され、下記のとおりとなりましたのでお知らせします。

当社といたしましては、今後も旅客ターミナルビルの更なる安全性・利便性の向上並びにハード・ソフト両面における旅客サービスの向上に努め、お客様の信頼に応えられるよう、より一層の努力を重ねて参ります。

※尚、10月1日の消費税率の改定に伴い、同日付で以下のとおり利用料の改定を行いますので、合わせてご案内いたします。

記

【国際線ターミナルビル 旅客取扱施設利用料の改定内容】

1. 利用料の額(消費税込み)

	現行 (消費税率8%)	2019年10月1日より (消費税率10%)	2019年10月27日より (消費税率10%)
大人	1,030円	1,040円	2,610円
小人	520円	530円	1,300円

※満12歳以上が大人、満2歳以上12歳未満が小人となります。

満2歳未満のお客様は料金をいただきませんが、満2歳未満でも座席(航空券)を使用する場合は小人料金を適用します。

また、満12歳未満でも大人用航空券を利用する場合は大人料金を適用します。

2. 料金の徴収方法

国際線で新千歳空港を出発する航空旅客が航空券を購入する際に、航空券に含ませて同時に徴収（オンチケット方式）させていただきます。

※出発航空券のみ対象

3. 発券基準日

国際線再整備による改定・消費税増税による改定ともに、2019年10月1日以降に発券された航空券を利用して搭乗するお客様を対象とし、それ以前に発券された航空券を利用して搭乗するお客様には、現行料金を適用させていただきます。

<参 考>

- 国際線に旅客取扱施設利用料を導入済みである主な国内主要空港の旅客取扱施設利用料
※消費税率8%の現時点における料金のため、10月1日付で改定の可能性があります。

	羽 田	成田（1・2ビル）	成田（3ビル/LCC）
大 人	2,570円	2,090円	1,020円
小 人	1,280円	1,050円	510円

	中 部	関西（1ビル）	関西（2ビル/LCC）
大 人	2,570円	2,730円	1,230円
小 人	1,290円	1,370円	1,230円

	仙 台	福 岡	那 覇
大 人	600円	970円	1,000円
小 人	300円	490円	500円

■旅客取扱施設利用料（PSFC）とは

PSFCとは、旅客ターミナルビルの新設又は大規模な改修にあたり、利用客への利便性・快適性の向上を図るために行う施設の整備や維持管理に係るコストの一部に充当することを目的とした料金となっております。

尚、導入にあたっては国土交通大臣の認可を得ることになります。

■新千歳空港国内線の旅客取扱施設利用料（2018年10月28日導入）

出発・到着客1人当り（消費税込み）

- ・大人 270円（満12歳以上）
- ・小人 140円（満3歳以上12歳未満）

※消費税率改定による料金の改定はありません。

以 上

<お問い合わせ先>

新千歳空港ターミナルビルディング株式会社
総務部 長谷川
(TEL) 0123-46-5100
(FAX) 0123-46-2800

<本件の詳細について>

営業部 丸岡、宮本
(TEL) 0123-46-5113
(FAX) 0123-45-7092

今回の施設再整備工事における主な整備内容は、以下のとおりとなります。

■主な整備内容

1) 旅客取扱施設の整備内容

- ・ロビー、搭乗待合室、コンコース、バゲージクレームの拡張及びバスラウンジの新設を実施。
…ロビー（1～3階計）：約12,000㎡→約24,800㎡、搭乗待合室（出発コンコースを含む）：
約5,600㎡→約10,600㎡、到着ロビー：約4,900㎡→約6,700㎡、到着コンコース：
約3,000㎡→約5,100㎡、バゲージクレーム：約480㎡→約1,200㎡（ターンテーブル：2基→5基）、
新設バスラウンジ：約1,000㎡
- ・就航航空会社に合わせた出発カウンターの増設を実施。
…36ブース→74ブース（暫定カウンターを除く）
- ・保安検査場の拡充・再配置及び保安検査レーンの増設を実施。
…面積：約300㎡→約1,600㎡、レーン数：5レーン→9レーン（従来型2レーン+スマート型7レーン）
- ・出発及び到着手荷物荷捌場の拡充・新設を実施。
…面積：約3,200㎡→約7,000㎡、手荷物搬送設備：2基→5基（出発・到着それぞれ増設）
- ・インライン（検査機器）の増設を実施。
…3基→5基
- ・固定橋、ボーディングブリッジの増設を実施。
…固定橋：5基→8基、ボーディングブリッジ：8基→15基
- ・バスゲートの増設を実施。
…2ゲート→4ゲート
- ・ロビー、搭乗待合室内のシートスペースの全面更新及びトイレ、授乳室、昇降機の増設を実施。

混雑緩和、機能性利便性向上

2) その他の整備内容

- ・上記整備に伴う各種サービス施設の適正再配置を実施。
* 外国人観光案内所、インフォメーション案内所、フリースペース（充電コーナー）、トイレ、授乳室、喫煙室、A T M、両替所、
コインロッカー、レンタカーカウンター、エージェントカウンター、手荷物預り・宅配カウンター、会議室、待合室等
- ・利用者への情報通信設備（Wi-Fi、FIS）の整備。
- ・多目的ホール、ホテルの併設。

FAST TRAVELとは、ストレスフリーで快適な旅行環境の実現をめざし、訪日外国人旅行者・日本人出国者の大宗が利用する空路において世界最高水準の利用者サービスを提供するため、先端技術の活用等により、地方空港も含め、旅客が行う諸手続や空港内外の動線等を抜本的に革新し、空路の利用に係る一気通貫での円滑化等を通じた旅客満足度の向上を図ることで、国が推進しているものです。

新千歳空港におきましても、今回の国際線施設再整備に伴い、FAST TRAVELに取り組むべく、以下のシステム（設備）を新規に導入することと致しました。

■自動チェックイン機（C U S S）
24台導入



Figure 1-1 Front Kiosk Colours

Figure 1-2 Left Kiosk Colours

■スマートレーン 7レーン導入、ボディスキャナ4基導入



■セルフバゲージドロップ（S B D）
6台導入



■保安検査場自動ゲート 6レーン導入

※各画像はイメージとなります。